

## 中長期を見据えた産学連携したリカレント・リスキリング教育の実現に向けて

### [現状]

- ・多くの企業は、多様な講座を安価に受講しやすい民間教育機関が提供するオンラインのサブスク研修を利用している。
- ・一方、大学が提供するプログラム・講座は、基礎から専門性が高い内容まで一定の質の確保が期待されており、経営幹部候補や中堅・リーダー層、研究開発職、若手ゼネラリスト等、受講対象者・目的を限定して利用されていることが多い。

### <大学が提供するリカレント・リスキリング教育>

	類型	概要
レディメイド型	大学の強みを活かした特定分野に関するプログラム・講座	大学の研究シーズを活かしたプログラム・講座。地域産業、最新の研究等に対応するプログラム・講座が多い。
	社会人コースによる学位取得	一定期間の社会での実務経験等のある人材が学位取得できるプログラム。
	社会・地域の課題解決に資するプログラム・講座	社会・地域課題と大学の研究を結びつけ、課題解決を通じて社会的価値の創出を目指すプログラム・講座。
オーダーメイド型	共同研究講座	企業が大学へ資金を提供し、大学内に研究組織を設置し、共同研究を行う。社会実装を見据えた研究成果を創出するとともに、高度人材を育成。
	ニーズプル型プログラム・講座	大学が、企業が必要とする知識やスキルを聴き取り、個々の要望に添って開発・提供するプログラム・講座。
その他	地域の住民等を対象とした講座	大学が地域の知の拠点として、地域住民の生涯学習や多種多様な主体の活動を支えるため、大学の専門知識を広く社会・地域に還元する講座。

### [課題]

- ・大学のプログラム・講座が中長期を見据えた事業変革や人材育成に有効と考え活用している企業もあるが、その活用は一部に留まっている。
- ・企業ニーズの収集に苦慮したり、上記の有効性に気付いていない大学も多い。
- ・そのため、大学のプログラム・講座の有効性に対する理解を産学双方に促すとともに、活用が進むよう企業と大学を結びつけていく必要がある。

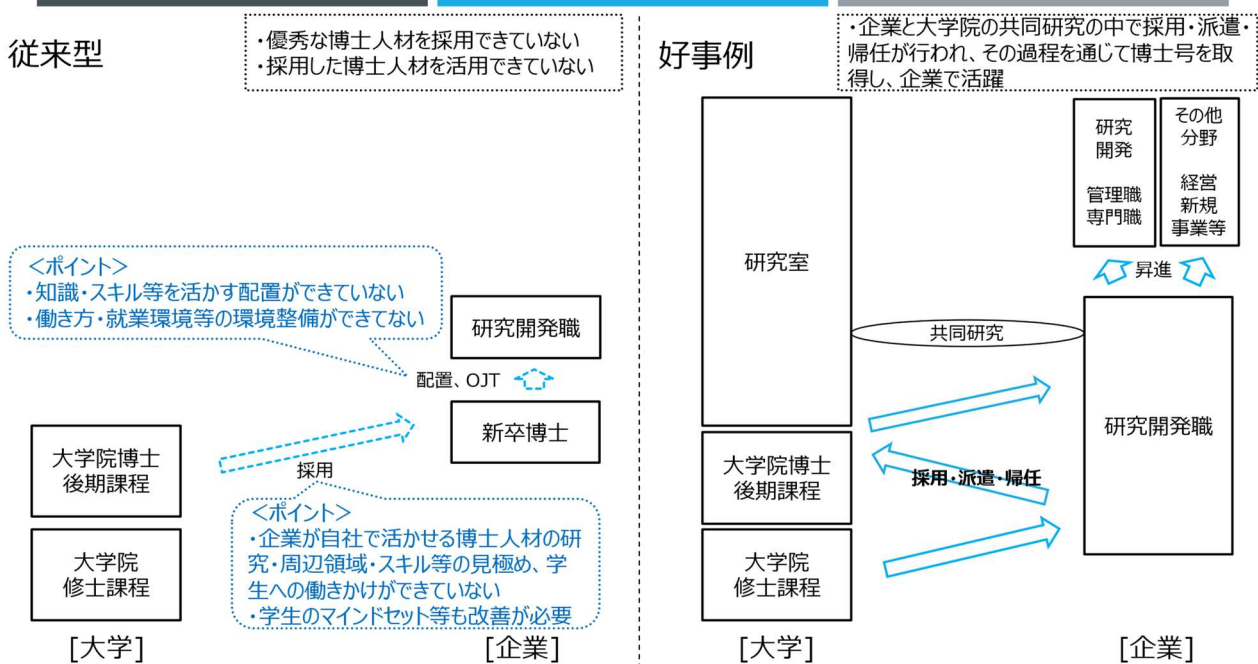
### [今後の中経連の取り組み]

- ・企業ニーズと大学プログラムの結びつけを目指した産学の連携・マッチングの試行。
- ・産学連携したリカレント・リスキリング教育の実現に向けた好事例等の普及啓発。  
⇒中部圏の地域力向上に向けた産学連携による人材育成の活発化につなげる。

## 好事例から見える企業の研究開発部門における博士人材の活躍パターン

- 中部圏の企業において採用・活躍が進んでいない博士人材について、中部圏以外の企業へ調査して得た好事例を概括的にまとめると、**共同研究の中で採用・派遣・帰任が行われ、その過程を通じて博士号を取得した人材が企業で活躍**している。

### 従来型と好事例の違い



- 共同研究の中で採用・派遣・帰任が行われる好事例には2つのケースがある。
  - 【ケース1】修士課程修了後に就職した後に、**社員のさらなる成長に向け、大学院博士後期課程へ派遣し、博士号を取得して帰任後に活躍**するケース
  - 【ケース2】優秀な研究開発職の確保と共同研究のさらなる進展を目的に、**修士課程修了後にそのまま博士後期課程へ進む条件で新卒修士を採用し、博士号取得後に帰任して活躍**するケース
- このほか、就職の過程などは従来型と同じであるが、データ分析を活かした研究開発の見直しや新規事業開発等で活躍する好事例もある。
  - 【ケース3】**専攻・専門を問わず、知的好奇心、チャレンジ精神を持つ博士人材を採用し、活躍**するケース